ぜんせき THE ZENSEKI

第8001号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円 組合員外 月1,944円（消費税込）

9月30日（月曜日）　2019年（令和元年）

発行所 全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp

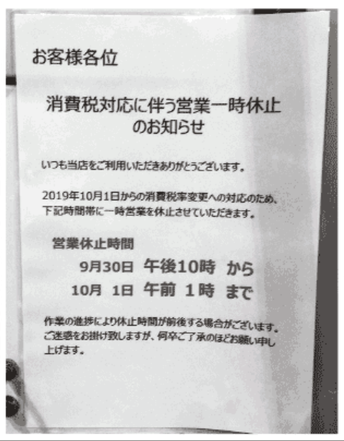
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

あすから消費税増税

適正利潤確保が不可避

あす10月1日から、消費税が2％上がり10％となる。増税を目前に控えた石油製品市場では、急激かつ大幅な仕切り値上げが重なり、駆け込み需要の有無も含めてSS経営の不透明感が増している。仮需発生を明かす卸業者もみられる中、燃料にとどまらず油外商品でも適正価格のあり方が問われかねない。早急な適正マージン確保が求められる一方で、便乗値上げのそしりを受けないために、SSはどのような対応に迫られているのか。全国の状況を追った。（1面に関東、2面にその他地域の各概況）



一時営業休止を告知する千葉県佐倉市内のSS

国内最大の需要地・関東。先週の都内SSでは駆け込み需要も目立たず「ユーザー・SSともに淡々としている」との見方が大勢を占めた。油外商品でも駆け込みセールを大きく謳う動きは弱く、普段からタイヤに力を入れているSSも「2ヵ月前から声かけした程度。そのぶん、やや需要を上積みしたくらい」という。

前回2014年の増税直前は給油待ち車列が各地で見られたが、今回は「ポイント還元も需要変動の抑制に寄与しているのではないか」などの指摘も聞かれ、これに関連して「キャッシュレス化の進み具合が読めない」との戸惑いも。一方、28～30日はガソリン駆け込み需要を見込んで人員を増やしたり、地下タンク備蓄に余裕を持たせる量販型SSも見られる。24時間営業店では「車列ができることを想定し、日付が変わる1～2時間前に閉店してシステムや価格表示を切り替え、1日になったら再開するオペレーションで臨む」という。

群馬では「サービスの質をより向上させ、増税分の転嫁に理解を求めている」との声が聞かれた。24時間営業SSも計量機に張り紙を掲示するなど、対応に追われている。

また、駆け込み需要に関して「油外で取り扱っている中古車の相場が一気に上がった。従来より30万円ほど高く売れている」（千葉）、「燃料油販売量も油外収益も普段と変わりない。お客さんも〝わずか2％〟という感覚が強い」（茨城）など、反応は様々。山梨では「税率が5％から8％になった時ほどの特需は感じられない」という声が聞かれ、ポスターやチラシで増税分の値上げを告知している。「冬タイヤは例年10月ごろから動き出すが、増税前の購入を提案することでいくつか注文もきている」。さらに、川崎市の量販SSは「車検を前倒しで予約するユーザーが増えている」とし、「タイヤを買うなら増税前の今がお得」と記載したノボリを掲げ、アピールに余念がない。長野県諏訪市のSSでも「今月の目玉商品」と銘打ったポスターを掲げ、タイヤ販売を強化していた。

「タイヤを買うなら増税前」とPRする川崎市内のSS

石油協会

信用保証「積極活用を」

安定経営へ資金調達支援

全国石油協会はこのほど、全国の石油組合に対し、10月からの消費増税などを踏まえた資金繰り対策として、組合員に信用保証制度の活用を促す周知文書を発出した。キャッシュレス決済の増加に伴う運転資金の増加や、中東産油国等における地政学的リスクの高まりを受けて原油価格の上昇懸念が強まるなど、年末に向けて運転資金の確保が一層重要となることが予想される。このため、信用保証制度の積極的な活用を通じた金融支援によって地域の燃料供給基盤である中小SSをバックアップし、日本経済・国民生活を支えるSS網と石油製品の安定供給を維持・強化していく。

10月からの消費増税を巡っては、石油製品の卸価格の上昇に伴う仕入代増加のほか、仕入先から取引担保の増額などを求められるケースが見込まれる。また、消費税率の引き上げに伴う需要平準化対策として、キャッシュレス対応による各企業の生産性向上や消費者の利便性向上を図る『キャッシュレス・消費者還元事業』が始まる。SSにおいても顧客のキャッシュレス払いの増加とともに売掛金が増加し現金収入が目減りするなど、キャッシュフローの悪化が危惧されている。さらに、サウジアラビアの石油生産設備に対する無人機による攻撃で、石油製品の需給ひっ迫懸念から原油価格が一時急騰するなど、中東情勢の不安定化による原油価格変動リスクが高まり、中小石油販売業者の資金繰りへの悪影響が危惧される状況となっている。

SSの資金繰りを巡る環境変化を見据え、同協会では石油販売業者の円滑な資金調達をサポートするため、全国の石油組合を通じて、組合員らにセーフティネット資金や小口運転資金などの債務保証制度の活用を促し、経営の安定化・健全化を図っていく。

同協会は信用保証制度でこれらの運転資金を確保する支援に加え、①住民拠点SSへの申請に伴う自家発電機の導入・支払い時から補助金交付までのつなぎ資金②POS更新など経営合理化に要する資金③タンクローリーの購入、地下タンクの漏洩防止対策に要する資金―などの活用も呼びかけている。

このほか、SSの省力化・合理化、経営の高度化などに資するセルフ化に要する設備資金、コインランドリーの併設、太陽光発電設備の設置など経営多角化に伴う資金需要にも対応している。

同協会は加盟する石油組合経由で「決算書や試算表等資料を提出いただければ、保証可能額等の具体的なアドバイスを行っていきたい」と呼びかけるとともに、信用保証制度を利用する場合は「融資を受けたい内容や金額などについて、まず加盟する各都道府県の石油組合に相談してほしい」としている。

10月テーマ

ぜんせきwebアンケート

消費増税の影響について

「ぜんせきweb」キャッシュレス化やポイント還元など様々な対応が必要となっています。前回のテーマは〝消費増税の影響〟について。消費税が8％から10％に増税され、年増税時には、駆け込み需要や反動減販売などの問題もありましたが、今回はどのような影響があったのかをお聞きします。また、定例のSS業況アンケートにもご協力ください。

回答者の中から抽選で5社に『バイオ消臭剤OE－1』（写真）をお送りします。無害・無臭のバクテリアの力で腐敗臭を元から分解、人やペットに害のないエアゾールタイプなので、効果も長時間持続します。

原油コスト反落傾向

9月上旬44円弱 8月は45・4円

財務省原油CIF

今週の卸価格に影響する中東産原油の円建て週間コストは前週比1・8円安となり、3週ぶりに反落した。サウジアラビアからの原油輸出にいまのところ大きな影響がないうえ、トランプ米大統領への弾劾調査の開始などが下げ要因となっている。直近27日の東商取プラッツ・ドバイ原油はドル建てで前日比0・03ドル高の60・12ドル、円建ては0・1円高の40・8円。

国内のガソリン陸上スポットは、消費税増税を前に供給面でタイト感も出ている。商社は「仮需を警戒する元売が出荷調整をかけている」と話しているが、月替わりで今後下げ基調と予測される。27日のTOCOMウインドウ・ガソリン陸上は前日比横ばいの111・2円。

◇　◇

特約店筋によると、コスモは27日からの週決め仕切りを前週比全油種2・5円値上げ。

石運週報 9月3週

G出荷2週連続好調

レギュラー小売 9週ぶりの反発

エネ庁週市況

石運週報による9月第3週（15～21日）のガソリン出荷量は、前週比0・5％増、前年比4・9％増の94・2万キロリットルと2週連続で前年実績を上回った。過去5年平均比でも2・1％増となり、2週連続で好調だった。生産量は7・1％増、5・2％増の96・6万キロリットルで2週ぶりに増加。在庫は4・2％減、4・4％減の152・9万キロリットルと2週連続で取り崩した。

灯油出荷量は前週比67・9％増、前年比12・4％増の16・7万キロリットルと4週ぶりに好調。在庫は0・3％減、0・5％増の250・9万キロリットルと12週ぶりに取り崩した。

9月上旬原油CIF価格はドル建てが前月比1・63ドル安の65・34ドルと3ヵ月連続で前月を下回った。円建ては為替がドル106・29円と円高で推移したため値下がり幅が膨らみ、1846円安のキロリットル4万3687円と3ヵ月連続で前月を下回った。

◇　◇

8月原油CIF価格は、ドル建てが前月比0・05ドル高の67・36ドル、円建ては為替が円高基調で推移したため3001円安のキロリットル4万5423円と3ヵ月連続で前月を下回った。

週仕切り指標のコスト変動と推計値

（＊原油＝価格適用期間のFOB平均値）　（円／L）

適用期間	原油	ガソリン			灯油			軽油			A重油
土～金曜		スポット	系列卸	TOCOM	スポット	系列卸	TOCOM	スポット	系列卸	TOCOM	スポット
9／1週	▲0.74	1.0	1.0	0.3	0.6	1.0	0.4	0.5	1.0	▲0.2	0.5
2週	▲0.40	▲0.2	▲0.5	2.3	0.3	▲0.5	1.8	▲0.1	▲0.5	▲0.2	0.3
3週	1.96	0.3	0.0	4.8	0.1	0.0	2.6	▲0.0	0.0	1.9	▲0.1
4週	3.16	2.4	2.0	▲1.7	2.1	2.0	▲1.4	2.0	2.0	1.5	1.9
前週実勢値	44.47	112.3	111.3	110.5	60.2	60.0	58.6	59.4	60.0	62.6	58.2
前週標準仕切り推計	---	---	114.3	---	---	63.0	---	---	63.0	---	---
10／1週	▲1.84	1.0	2.5	▲2.3	1.4	2.5	▲0.4	1.3	2.5	0.3	1.0
当週実勢値予測	42.64	113.3	113.8	108.2	61.5	62.5	58.2	60.7	62.5	62.9	59.2
最近値	42.53	112.6	113.8	108.2	61.2	62.5	58.2	60.5	62.5	62.9	58.9

〝意見を1つ〟に前進

軽油引取税問題協議会 税制改正要望協議

全石連

全石連軽油引取税問題協議会（宇佐美三郎会長）は先ごろ会合を開き、2020年度税制改正要望などについて協議した。会合には、満タン＆灯油プラス1缶運動推進委員会の浜田忠博委員長も出席して『満タン運動』への協力を求めたほか、資源エネルギー庁石油流通課の松浦哲哉課長が来年度石油流通関係予算概算要求を説明した。

宇佐美会長（写真）は「12年前にこの協議会を立ち上げ、軽油引取税の大切さを訴えてきた。今後もご協力いただき、意見を1つにしていきたい」とあいさつ。

議事では全石連の加藤文彦副会長・専務理事が税制改正要望、松浦課長が概算要求を説明。また、浜田委員長は今年度の『満タン運動』について「自衛的備蓄を大きなテーマに幅広い運動を展開し、AM・FMラジオCMで全国的に運動の趣旨を告知する。皆さんにもぜひご協力をお願いしたい」と呼びかけた。

2面　増税前仮需は限定的か
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報、週動向調査、石運週報、CIF価格
3面　中部版・石川・県防災訓練参加／九州版・消費増税10％あす開始
トレンドファイル／webアンケート
4面

きょうの紙面

ポンプあいら・ん・ど

▼魏志倭人伝に「倭に黄幢（こうどう）を賜った」という記述がある。倭に黄色い旗を贈ったという意味だ。どのようなものだったかもちろんわからないが、倭のシンボルとして人々を鼓舞するものだったと想像してもいいだろう▼平安時代から、武士たちは士気の高揚と自軍と敵軍との識別のために棒の先に布を付ける流れ旗を使った。しかし流れ旗は風がない時や逆に強風下では見えにくくなる欠点があるため、室町時代になると旗竿の上に横棒を取り付ける現在のようなノボリが考案された▼そういう意味では旗もノボリも同じようなものだが、現代は情報を伝えるためにノボリを目印として立てる場合が多い。神社の祭事を知らせる「神社ノボリ」や大相撲の巡業を告げる「相撲ノボリ」はその代表格だ。イベントやセールでも立てられるノボリを見るとなんとなく興味をそそられるのは、倭の時代から変わらないのかもしれない▼あちこちのSSで『満タン＆灯油プラス1缶運動』のノボリを見かけるようになった。地震、豪雨、そして台風と大きな災害が続く。そのたびにSSには長い列ができる。自宅で生活できずに車中泊する人もいる。しかし、満タン運動が国民的な運動として定着するのはまだまだだ。『満タン運動』の黄色のロゴがもっと多くの人々を〝鼓舞〟してほしい。

論説

最大課題は増税分の即日転嫁

いよいよあすから消費税が10％に引き上げられる。全国のSSはそれぞれの小売価格に増税分の2％を上乗せ転嫁することになるが、石油情報センターのレギュラーガソリン全国平均店頭価格をベースに計算すると、約3円の値上げとなる。何度も言うようだが、この約3円は税金の値上がりである。転嫁できない場合はSS側が被る。それは絶対に避けなければならない。さらに、中東情勢が緊迫する中、原油価格の変動に伴う元売の仕切価格も上下することになれば、その対応も行わなければならない。それを考えれば10月1日の増税転嫁は即日に行っておかなければならない。

過去の消費税増税において、石油販売業界は緊張感を持って完全転嫁に取り組んだ。2014年4月に消費税が5％から8％に上がった時は、温暖化対策税の段階的増税（1リットルあたり0・25円）が重なる、いわゆる〝ダブル増税〟だったが、石油販売業界は翌週、増税分の約5円をきちんと転嫁した。ところがその後の1ヵ月間で、原油価格の変動で特約店向けの仕切価格が2円ほど上昇したが、そのぶんの転嫁がおろそかになりマージンが縮小した。そうした事態は絶対に避けなければならない。

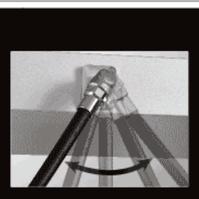
先週あたりから市場では駆け込み需要も発生しているようだ。前回の14年3月末にもSS店頭は混雑し、4月1日には閑古鳥が鳴いた。今回も10月に入って以降はそういう状態が予想される。仮に仕切価格が上昇した場合、業界はさらなる価格転嫁に取り組めるかどうかが課題となるし、仮に仕切りが下がった場合、増税転嫁できていなければマージンは激減する事態に陥る。

サウジへの攻撃に端を発した中東不安に対し月岡隆石油連盟会長は「原油市況は今後一段と不透明感を増すことが憂慮される」と述べたように、国内市況も予断を許さない。

増税は増税として、油価は油価として、即時転嫁に努めなければならない。タイミングを外せば税を被るかマージンを減らすか、という悲惨な結末に至る。

今回は、軽減税率の導入やキャッシュレスによるポイント還元など、これまでの消費税増税では経験しなかった仕組みもスタートする。SS経営にどのような影響を及ぼすのか不確定要素が多い中で、中東情勢という要素が加わった。明日以降、我が石油販売業界はこの難しい壁を乗り越えなければならない。

TMC TOMINAGA MFG CO
ALUNA MULTI
アルーナマルチ
http://www.kyoto-tmc.co.jp


スムーズな給油操作を実現できる
スイングデリベリベンド
計量機とホースのジョイント部に「回転式のデリベリベンド」を装着。ホースの有効リーチが大幅にアップし、取り回しもスムーズになります。

大型で見やすい
高輝度LCD表示器
業界最上級モデルのVA方式高輝度大型LCD表示器を搭載。
ブラック素地に白文字を浮き上がらせ、鮮やかなコントラストと大型文字により昼夜を問わず、どの角度からでもハッキリと見やすい表示を実現しました。
▶給油シグナル
ノズルや給油の状態をお知らせする機能です。
ノズルを取る　ノズルマーク点灯
給油中　給油マーク点滅
▶流速インジケーター
給油中の流速を「4分割」にしたグラフで表示。
流速が一目でわかる安心マークです。

安心の"ダブルチェック"水検知機能
AQUATECT
誤って油中に混入した水を、車両に給油してしまうトラブルを未然に防止。
計量機内部に、2つの高精度水検知センサーを装備し、水を検知すれば強制的に給油をストップします。

"燃料供給システム"の明日に取組む

「使いやすさ」×「デザイン」より美しく、より安全な給油環境を考え、新しい価値を創造し続けます。

株式会社富永製作所
〒604-8493 京都府京都市中京区西ノ京南両町88 営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-1373
〒156-0055 東京都世田谷区船橋4-36-13 東京営業部 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
仙台営業所 ☎(022)287-9311 名古屋支店 ☎(052)414-1181 関西支店 ☎(0774)41-3443 広島支店 ☎(082)283-2428 高松支店 ☎(087)843-7130 福岡支店 ☎(092)651-3168 沖縄支店 ☎(098)886-1811
事業所・代理店/全国主要39都市

好調なＨＴ向け灯油　油外の手応えいま一つ

増税前仮需は限定的か

（１面から続く）

需要期が始まるのはまだ先だが、北海道ではホームタンク向けの灯油の注文が24日ごろから急増している。札幌市内のＳＳは「毎日10件以上の電話がある」と話す。30日までに給油を終わらせようと、定期配送先の家庭を巡回するローリーも多く、冬でもないのに同市内を走り回る灯油ローリーの姿がよく見られる。スタッドレスタイヤの販売も好調。履き替えるにはまだ早いので、購入客には持ち帰ってもらい、冬前に無料でタイヤ交換するＳＳもあるようだ。ガソリンの仮需は「月末から混み始めるのでは」と予想するＳＳが多い。

東北では岩手県北や山形市周辺、仙台市の一部地域などで廉売合戦が激しくなっていた一方で、増税日を目前に原油が急騰したため、価格対応に苦慮するＳＳが目立つ。「増税分の転嫁を消費者にわかりやすくしたい」と慎重になるＳＳも少なくない。宮城県のＳＳは「税率が８％になった５年前は前日に給油待ちの行列ができた。今回も29～30日あたりに駆け込み給油が出るだろうが、ポイント還元もあってそれほどでもないだろう」と話していた。

中部では愛知県一宮市のＳＳで「洗車コース価格までは触れないので増税分は被らざるを得ないが、他の油外はお客様に説明して税金分10％はきちんといただくことにした」、岐阜県では冬用タイヤの販売を１ヵ月以上繰り上げ「実際の交換は11～12月でも９月中の購入なら消費税は８％のままとアピールしたが手応えはいま一つ」とこぼすＳＳもあった。金沢市のセルフでは、従業員が「事前の満タンをお勧めします」と呼びかけ、これに応じる消費者も。ただ、全体的には駆け込み需要で消費者が押しかけるような光景はほとんど見られていない。

中・四国では「タイヤは８月ごろから前倒しで力を入れてきたが、消費税増税の影響で大きく販売が伸びたとは思えない」（広島）、「タイヤに大きな影響はない」（鳥取）という状況。「事前に洗車チケットを販売するなどの強化を図った」（広島）というＳＳもあった。ガソリンは「少し伸びている」との指摘もあるが、27日まではほぼ平静。駆け込み需要のピークは30日と想定する関係者が多い。

九州・沖縄のＳＳは増税を知らせる全石連のポスターを掲示、先週末には各地で増税前に給油しようとするマイカーの列ができた。福岡市で給油していた会社員は「２％の増税とはいえ満タンにしたら150円くらいになる。ほかの日用品も上がるから、せめて安いうちに入れておかなくては」と話していた。一方で「１日以降にコスト上昇転嫁分を増税分にプラスしたら、きっと便乗値上げと言われてしまう。だからといってこのままでは〝被り〟がひどくなるばかり。どうしたらいいのか」と頭を抱える声も聞かれた。

〝増税ＰＲポスター〟を店頭掲示した九州のＳＳ

期待に応える〝最後の砦〟へ

長野　災害時対応手順を確認

【諏訪＝長野】長野石商（高見澤秀茂理事長）は25日、諏訪市内で災害時対応訓練を実施し、ＳＳ関係者ら約40人が参加した。

前半は井口エネルギー（本社・下諏訪町、佐藤博文社長・ＪＸＴＧ系）諏訪流通センターＳＳで実地訓練を行い、震度６強の直下型地震が発生して停電中との想定で開始。まずスタッフが建物や設備に大きな損傷がないことを確認したうえで、ＳＳ内の自家発電機を起動し、非常用電源に切り替えた。さらに分電盤の個別ブレーカーを操作し、非常電源で使う計量機に通電させ、〝緊急通行車両〟のステッカーを貼った車に給油。後半の座学は市内のホテルで実施。講師が資源エネルギー庁「災害ガイドライン」の概要や南海トラフ・首都直下地震発生時の応急活動計画について説明した。

平林一修専務理事はあいさつで、台風15号に言及しつつ「災害時の復旧に向けＳＳが社会的貢献を果たすことが世間の評価を高め、業界の発展につながる」と強調。また、大きな被害を受けた千葉県内ＳＳの写真などをまとめた資料を提供した。

自家発電機を起動させる参加者

香川　訓練重ねて備え

【高松】香川石商（国東宣之理事長）は24日、高松市内の湊商事ユーポートセルフ朝日町ＳＳで災害時対応実地訓練を実施した。震度６強の地震発生による停電想定のもと、講師の指導を受けながら、非常用電源に切り替えて緊急車両へ給油するまでの手順を確認した。

国東理事長（写真）は「住民拠点ＳＳの整備を県内150ヵ所、全国で８千ヵ所を目指して進めている」と述べ、目標通り進捗していることを報告。また「香川は比較的災害の少ない県だが、いつ何時災害に見舞われるかわからない。エネルギー供給の〝最後の砦〟としての役割を滞りなく果たすことができるよう、訓練をしっかりと体に覚え込ませてほしい」と訴えた。

事故防止の要所学ぶ

茨城・タイヤ充填講習会

【水戸】全石連主催「タイヤ空気充填作業特別教育講習会」が26日、水戸市内の自動車整備振興会で開かれ、茨城石商（稲葉修一理事長）の組合員14人が参加した。

タイヤの点検修理などを専門とする荒井タイヤ（本社・茨城県日立市）の荒井功氏らが講師を担当。前半は座学で基礎知識を習得し、後半はタイヤおよび中型トラックの車両を用いて実地研修を行った。

荒井氏は「劣化したスペアタイヤに空気を充填した際、破裂事故につながったケースもある」など、作業には危険が伴うことを説明。参加者も積極的に質問するなど、関心の高さがうかがえた。

熱心に講師の説明を聞く参加者

全油種上げ　Ｇ131～134円

Ｊ本由

ジョイフル本田の運営する７ＳＳ（群馬・新田店、千代田店、栃木・宇都宮店、千葉・富里店、千葉ニュータウン（ＮＴ）店、埼玉・幸手店、東京・瑞穂店）は、26日から全油種を値上げした。値上げ幅は１～３円。

これによりガソリンは新田で３円値上げし134円、千代田、宇都宮、幸手で２円値上げし133円、瑞穂で３円値上げし133円、富里、千葉ＮＴは２円値上げし131円となった。

軽油は新田、千代田、宇都宮で２円値上げし114円、幸手で１円値上げし113円、その他３ＳＳで２円値上げし112円とした。灯油は全店で１円値上げし83円。

油政連関東支部　自負持って商売を

全国石油政治連盟関東支部（岡田昌之支部長）は25日開いた県連会長会議で、2020年度石油流通関連予算概算要求などについての説明を聞いたほか、11月13日に開催される「石油増税反対総決起大会」への動員体制を了承した。

岡田支部長（写真）は「内閣改造で、自民党石油流通問題議員連盟の田中和徳会長代理が復興担当大臣に就任。業界にとって明るいニュース」としたうえで、「有事の際にガソリンは不可欠。重要なものを扱っているという自負を持ち商売を続けよう」とあいさつ。

また、今年度の通常総（代）会で新任された大家章嘉東京油政連会長が「東京は地価の高騰が影響しガソリン需要が冷え込んでいるが、我々は油を売ってこそだ」、中島隆長野油政連会長が「今後も皆さんと力を合わせて頑張りたい」とそれぞれ所信を述べた。

キャッシュレス還元事業に参加

三菱エネ

三菱商事エネルギーは先ごろ、政府が推進する「キャッシュレス・消費者還元事業」に参加することを決めた。

「三菱商事エネルギー・イオンカード」のシステムに加盟しているＳＳが対象で、決済可能商品は同カードで購入したガソリン、軽油、灯油のほか、カーケア商品、カー用品など油外商品も含む。２％をキャッシュバックで還元する（毎月のカード決済額から相殺）。期間は10月１日から来年６月30日（予定）まで。

２商品を新規斡旋へ

台風被災の教訓生かそう　東京

東京石商・協（矢島幹也理事長）は24日開いた定例理事会で、現在実施中の全石連共同事業増強全国キャンペーンにおける目標達成に向けた積極活用を呼びかけるとともに、新規商品として「クラウド型管理システム」「駐車場システム」の取扱開始を紹介した。また会合に先立ち全石連の坂井信常務理事を招き、消費増税に伴いＳＳ業界が留意すべきポイントなどを学び、円滑な対応の必要性を確認した。

今年度の全石連千葉ＳＳビジネス見本市にも出展したＪＣＭが提供するクラウド型管理システム『ＪＯＣＡＲ』は、車販や整備など油外商品の顧客管理を支援するもので、業務効率化につながる。また、アップルパークが提供する駐車場システムは『駐車場用地一時使用賃貸借契約』で、一括借上による賃料保証の時間貸し駐車場として活用される。一方、産業廃棄物処理事業と計量機検定の料金が改定されることを説明した。

意見交換では、原油急騰と消費増税時期が重なる中、カード利用手数料アップも踏まえた適切な対応が求められているとの指摘が続いた。

冒頭あいさつで矢島理事長（写真）は佐賀、千葉、東京などでＳＳにも台風被害が及んだことに触れつつ、停電時のユーザー行動も教訓に「災害時に石油販売業界・ＳＳがどうあるべきかを改めて検討していきたい」とし、一層の災害対応力強化に取り組む姿勢を示唆した。

「九州北部豪雨や首都圏を襲った台風15号など、災害の多発に伴い『満タン＆灯油プラス１缶運動』の必要性が浸透しつつある」と強調。

そのうえで、「台風15号による深刻な停電被害が発生した地域は高齢者が多く、エアコンが機能しない家の中は暑過ぎるため、冷房を利かせた車中で一息つく人が多かったようだ」と紹介した。

土田委員長は最近の石油製品の需給動向などを踏まえ、「組合という組織を活かし、元売などにも意見を発信しつつ、適正マージンが取れる環境を作っていく必要がある」と、市場安定化に向けた業界全体の意識改革の必要性を訴えた。

『満タン』意義再認識

新潟

【新潟】新潟石商経（土田裕委員会（土田裕委員長）は先ごろ、新潟市内で会合を開いた。出席した浜田忠博理事長（写真）はあいさつで、「満タン＆灯油プラス１缶運動」の重要性を共有した。

総額表示で混乱回避

山梨

【甲府】山梨石商・協（西川一也理事長）は26日に甲府市内で役員会を開き（写真）、キャッシュレス・消費者還元事業で元売各社が行う対応やガソリン詰替販売についての注意点などを確認した。

消費増税後の価格表示については、一般消費者の価格誤認や現場での混乱を避けるため、税込みの総額表示を推進することとした。

西川理事長に代わりあいさつした中込徹副理事長は、「米国のイラン制裁の動向次第で原油価格が大きく変動する可能性がある。さらに小泉環境大臣になり地球温暖化対策としての炭素税の気運が高まっている。しっかり情報収集して対応を見極めていく必要がある」と述べた。また、台風15号の被害状況と千葉石商の対応について説明し、「台風通過後に気温が上昇する中、停電でエアコンが使えず車中で過ごす人が多かった。このような給油がいつできるかわからない時に、常時からの『満タン』が役に立つ」と、『満タン＆灯油プラス１缶運動』の重要性を共有した。

多量配達灯油　平均0・19円安

札幌市モニター

【札幌】札幌市消費生活課が25日実施した石油製品小売価格調査結果によると、ホームタンク向け多量配達灯油（200㍑程度以上）の平均価格は92・29円で、同月10日調査から0・19円値下がりした。

調査店100店（うち取り扱い休止・なし27店）の最多価格は92円（21店）。最安は81円（１店）、最高は100円（１店）。

ガソリン（現金）はフルが142円、セルフが139円。軽油は125円、122円で両油種いずれも変わらず。

DATAコーナー

■石油先物市場・９／27
△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／ＫＬ

東京商品取引所（京浜商上：１枚＝50ＫＬ）

16：30現在	前日比	限月	16：30現在	前日比
（前日出来高501枚）		ガソリン	（前日出来高4枚）	
54,400	△200	⑪限月	56,100	▲200
52,860	△310	⑫限月	55,300	0
51,350	△360	①限月	55,300	0
50,720	△380	②限月	54,800	0
50,150	△370	③限月	53,300	0
50,280	△200	④限月	53,300	0
（前日出来高203枚）		灯油	（前日出来高-枚）	
58,160	△30	⑪限月	60,500	0
57,640	△10	⑫限月	60,500	0
57,190	△20	①限月	61,000	0
56,820	△20	②限月	60,640	0
56,150	▲10	③限月	61,000	0
55,280	▲100	④限月	61,000	0
（前日出来高-枚）		軽油		
62,900	△200	⑪限月		
62,700	△200	⑫限月		
62,400	△200	①限月		
62,100	△200	②限月		
61,800	△200	③限月		
61,500	△200	④限月		

中京石油市場（伊勢湾油槽所：１枚＝20ＫＬ）

原油指標

		前日比
国内指標	＄／Ｂ　61.89	(▲0.05)
	￥／ＫＬ　42,370	(△12)
ＷＴＩ	＄／Ｂ　56.41	(▲0.08)
	￥／ＫＬ　38,618	(▲16)

■ＳＳ店頭市況週動向調査・９／24

レギュラー（単位：￥／Ｌ、↑値上げ、→同値、↓値下げ）								
北海道	141.9	↑	静岡	143.6	↑	鳥取	140.6	↑
青森	141.5	↑	山梨	147.0	↑	島根	145.8	↑
岩手	140.4	↑	愛知	140.5	↑	山口	141.2	↑
宮城	140.5	↑	三重	143.4	↑	徳島	143.5	→
福島	145.9	↑	岐阜	143.3	↑	高知	152.2	↑
秋田	144.3	↓	富山	141.8	↑	愛媛	145.0	↑
山形	148.6	↑	石川	140.1	↑	香福岡	143.6	↑
新潟	141.2	↑	福井	143.6	↑	岡	145.0	↑
長野	150.7	↑	滋賀	137.3	↓	大分	150.5	→
群馬	142.5	↑	京都	147.2	↑	佐賀	147.7	↑
栃木	141.3	↑	大阪	140.7	→	長崎	155.0	↑
茨城	139.3	↑	奈良	141.4	↑	熊本	145.4	↑
千葉	140.1	↑	和歌山	141.0	↑	宮崎	147.9	↑
埼玉	137.6	↑	兵庫	142.4	↑	鹿児島	152.9	→
東京	144.2	↑	岡山	142.7	↑	沖縄	149.1	↓
神奈川	140.6	↑	広島	141.7	↑	全国	143.8	↑

■国内供給統計（石連週報）・９月第３週末　（単位：千ＫＬ、％）

	東日本	西日本	合　計	前週比	前月比	前年比
①原油処理量	2,153.0	1,048.7	3,201.7	98.7%	93.9%	93.9%
②製油所稼働率	87.7	71.8	81.8	▲1.0	▲5.3	▲9.2
③石油製品在庫量						
ガソリン	835.1	694.1	1,529.2	95.8%	102.3%	95.6%
灯　油	1,782.1	726.6	2,508.7	99.7%	111.1%	100.5%
軽　油	849.8	633.4	1,483.3	93.5%	87.0%	95.5%
Ａ重油	390.2	285.0	675.3	94.9%	97.3%	95.0%
６油種計	5,419.9	3,514.7	8,934.6	96.6%	100.0%	93.8%
④製品出荷量推計						
ガソリン	556.4	385.8	942.2	100.5%	103.8%	104.9%
灯　油	105.0	61.4	166.5	167.9%	131.7%	112.4%
軽　油	446.2	233.8	680.0	98.7%	93.6%	107.9%
Ａ重油	132.5	116.8	249.3	113.4%	121.0%	127.7%
６油種計	1,359.7	932.5	2,292.2	109.0%	102.5%	106.3%

■原油・石油製品輸出入ＣＩＦ価格・８月（単位￥／㎘）

輸入	45.42	39.77	58.38	54.91	46.94
前月比	▲0.31	▲0.75	▲16.35	▲2.00	▲2.43
	原　油	揮発油	灯　油	軽　油	重　油
輸出	―	49.67	59.38	51.58	46.45
前月比	―	△0.41	△7.58	△0.79	▲1.80

キューた郎　浜坂高一朗

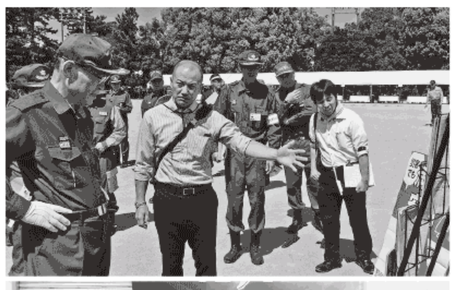
明日への技術と信頼のサービス
TATSUNO

1WAYコーティング ドライブスルー洗車機
HAYABUSA ～はやぶさ～
今、セルフ洗車の歴史が動く！
洗車渋滞
機会損失
満足度の低下
混んでるからやめようかな…
お客様が多く並ぶのはうれしいけれど…
1分の壁を切る高品質スピード洗車
ウォッシュコース・シャンプーコース
一般的なセルフ機 1.5台 最速設定 約1分35秒
旧1WAY機 0.5台 最速設定 約1分35秒
HAYABUSA 0.5台 最速設定 約59秒
ベースコーティング（FK-2 HYPER）
コーティング最速65秒
一般的なセルフ機 1.5台 最速設定 約1分45秒
旧1WAY機 1.5台 最速設定 約2分30秒
HAYABUSA 0.5台 最速設定 約65秒
仕上がり満足度UP 洗車単価UP
新登場
Tire Wax Dispenser
TWD1
NEW 業界初
コイン式 タイヤワックスディスペンサー
After Before
「洗車のついでにタイヤも綺麗にしたい」というドライバーの声から生まれた『タイヤワックスディスペンサー』。仕上げ場のわずかなスペースでも設置可能なスリム設計でワックス掛けが容易にできます。タイヤワックスのセルフ有料化を促進し洗車収益をサポートします。
Beauty ビユーテー株式会社 SINCE 1965
機械遺産認定の信頼と洗車機累計販売台数世界NO.1の実績
本社 名古屋市港区木場町2番地 TEL 052-692-2101（大代表）
ビューテー 検索 http://www.beauty.gr.jp
■Network of the Beauty
北海道支店　仙台支店　上信越支店　関東第一支店　関東第二支店
東海支店　北陸支店　大阪支店　広島支店　福岡支店　南九州支店

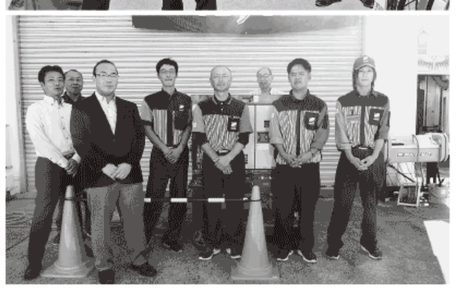
中部

県防災訓練で〝SSの力〟示す

「石川県総合防災訓練」が先ごろ野々市市内の野々市中央公園を主会場に行われた。石川石商（吉岡英一郎理事長）は、住民拠点SSにおける緊急車両給油や、石油連盟との最新石油機器展示などで参加。〝石油の力〟を広く住民らにアピールした。



災害に強い石油機器を谷本知事（左）に説明する吉岡理事長



住民拠点SSで訓練に臨んだ中市副理事長（左から3人目）と従業員ら

石川石商

『満タン運動』もPR

地元の断層帯を震源とする大地震が発生し、多数の死傷者、ライフラインや交通網の寸断など甚大な被害を被ったとの想定で行われた訓練には、陸海空自衛隊や海上保安部、気象台、警察、消防、大学など101機関・団体計8千人が参加。同石商が参加するのは今回で6回目。住民拠点SSの協和石油販売じょんからSS（野々市市、中市隆幸社長・コスモ系）での緊急給油訓練は、同石商の今川弘史専務理事らが見守る中、川畠慎助所長の指揮のもと、従業員らが自家発電機を運び出して稼働。県警パトカーや白山野々市広域消防本部の消防車を緊急車両専用給油レーンに誘導し給油を行った。

同石商副理事長を務める中市社長は、訓練に参加した従業員らを前に「きょうの貴重な経験を忘れず、大きな災害に襲われた際にしっかりと活かしてほしい」と訓示した。

また、同公園内の野球場では、同石商と石油連盟が合同でブースを設置し煮炊き兼暖房用石油バーナーやコンロ、ストーブなど最新の石油機器を展示。

吉岡理事長や吉原慎吾副理事長、石連担当者が訓練本部長の谷本正憲知事、栗貴章野々市市長らに石油製品の利便性や効率性について紹介するとともに、『満タン&灯油プラス1缶運動』についても説明。谷本知事は災害に強い高性能の石油機器に感心しながら、同運動の取り組みを評価した。

ステッカーを手に『満タン運動』をアピールする（右から）吉原副理事長、谷本知事、吉岡理事長、粟野々市市長

人の育つ組織へ5項目留意

岐阜 カービジネス研究所・堀越社長講演

岐阜石商（澤田栄理事長）と同青年部会（伊藤謙一部会長、伊藤商会社長・出光昭シ系）の共催による講演会が、このほど石油会館で開かれた。カービジネス研究所社長の堀越勝格氏を講師に招き、「人不足倒産に陥らないために」をテーマにEV普及の現状や見通し、人材育成のポイントなどについて聞いた。主な講演内容は次の通り。

国内の自動車数は現在約8千万台。このうち燃費の良いHVはかなり普及しているようにみられているが、実際は全体の10％足らずで、依然ガソリン車が約9割を占めているのが現状。国はおよそ10年後の2030年には4台に1台をEVにすることを目標にしているが、実際には最大でも10台に1台程度の普及にとどまると思われる。ただ、10年後にはドライバー人口は全体の人口減や高齢化などにより10％減少、ガソリン需要も30％減となる見通しだ。

こうした情勢を背景に働き手不足が加速するため、有力な人材を長く確保する組織作りを急がないと人手不足倒産に陥りかねない。淘汰される側にならないよう強い経営力を養い、人が育つ組織を作っていかなくてはならない。そのためには、経営者・従業員とも「同一の危機感」「共通の価値観」「うちの会社ならできるという自信と信頼」「感謝の気持ち」「高い欲求水準」という5つの要素を大事に実行していく必要がある。業績評価ではなく、人を育てる評価制度の導入を図りたい。それには経営者・社長が最も成長して人を引っ張っていく姿勢を取り、部下たちが上司や社長にモノが言える会社を目指してほしい。

愛知は2ヵ所で60本採取

東海4県一斉路上軽油調査

脱税や環境汚染の原因ともなる不正軽油の撲滅を目指すため、愛知、岐阜、三重、静岡の4県税収担当部局による「東海4県一斉路上軽油抜取調査」がこのほど行われた。

愛知県税務課と県税事務所は県内2ヵ所で実施。このうち名古屋市西区浅間町の国道22号では、税務職員8人と警察官3人が出動。トラックなど軽油燃料の大型車に停車を求め、運転手に調査の趣旨を説明し協力を依頼して燃料をタンクから抜き取った。また、同県では春日井市内津町の国道19号でも実施。2ヵ所で合計60本を採取した。他の3県を含め、採取した燃料は検査され、灯油混入など不正が発見された場合は給油場所、混入製造元などを追跡調査し、課税処分していく。

大型車から燃料の軽油を抜き取る税務職員（名古屋市西区の国道で）

富山は60本採取

富山県税務課による軽油抜取調査が砺波市の国道156号でこのほど実施され、大型車など60台から燃料油を採取した。同課では分析調査に約3週間をかけ、不正軽油発見の場合は厳しく摘発、課税処分等を行っていく。

10月10日から各地区連合会

岐阜石商（澤田栄理事長）の「地区連合会」が10月10日から県内5ヵ所で開催される。組合の現状や活動状況、課題などを執行部が各地域の組合員に説明し、意見を求めるもので県内の5連合会ごとに毎年この時期に開かれる同石商の恒例行事。日程は次の通り。

▽岐阜地区＝10日正午～・石油会館会議室▽西濃地区＝11日正午～・大垣フォーラムホテル▽中濃地区＝16日午後3時30分～・シティホテル美濃加茂▽飛騨地区＝21日正午～・ひだホテルプラザ▽東濃地区＝23日正午～・瑞浪市産業振興センター

九州

消費増税10％あすスタート

外税表示に強まる警戒感

消費増税10％があすからスタートする。九州・沖縄では月末が近づくにつれて増税前に給油しておこうという車が増え、28、29日には駆け込み給油するマイカーが列を作った。各SSではPOSの税率を変更をする準備も整えた。増税への理解を求めるポスターを掲示するSSも多く見られる一方で、「いまでも需要減は深刻なのに、さらに需要が冷え込まないか」との不安も広がり、〝外税表示〟に対する警戒感が強まっている。

全石連は機関紙「ぜんせき」に「増税分の転嫁にご理解を」というポスターを織り込んで配布しており、各県石商は「1㍑あたり約3円アップと、金額を明示しているからわかりやすく、お客様にも説明しやすい」と、ポスターの活用を呼びかけた（写真）。

ただ、「約3円」は全国平均（145円）の試算価格であり、販売量が少なく輸送費コストが高い離島や過疎地ではこれを上回る価格が多いために「平均よりも高くなるという印象を持たれないか」という心配も出ている。また「消費増税によって公正な市場を実現しよう」という声が上がっている。

ガソリン前年比 九州全県減少

7月・販売実績

石油連盟が集計した7月の石油製品販売実績によると、九州7県のガソリン販売量は全県で減少し、前年同月比6％減の42万9千㌔㍑にとどまった。猛暑は続いたものの台風や悪天候により行楽需要が減少した影響とみられる。

最も減少したのは宮崎県で、12％も落ち込み3万9千㌔㍑。熊本県が10％減の4万6千㌔㍑、長崎県も10％減って4万1千㌔㍑と、ともに2桁の大幅減。大分県が7％減の4万4千㌔㍑、鹿児島県も6％減の6万1千㌔㍑。最も減少率が少ない福岡県も1％減少し、16万5千㌔㍑だった。

軽油は長崎県が28％の大幅減で2万9千㌔㍑だったが、他県は1～8％減り、7県計で27万5千㌔㍑だった。

沖縄県は観光客の増加などもあり、ガソリンが3％増の6万5千㌔㍑。軽油は14％の大幅増で2万5千㌔㍑。

小さなSSの大きな野望

佐賀・金岡石油（上）

「ワクワクや感動をしても活躍する。その伝えることが商売繁盛ユニークな取り組みとにつながると思います」。佐賀県武雄市で金岡石油（JXTG系）を経営する金岡潤（かねおか・ひろし）さんはSSのほか、楽しい時間・空間を提供する「ビープラス マルシェアンドカフェ」を経営し、地元の農産物も販売。また、佐賀石商の武雄支部長を務め、経営コンサルタントとしても活躍する。

「夢を育む地にしたい」と言う金岡さん

低価格販売と決別

夢を持てる働き方目指す

◇　◇

「武雄という地で夢を持つことができる働き方をしたい。地域ぐるみで未来への夢を育める仕組みを作りたい」と言う。

同社は約60年前、祖父が創業した。最初は農機具や運搬車の販売をしていたが、モータリゼーションの到来に対応して燃料販売を始めた。

金岡さんはIT関係の専門学校を卒業後、福岡市のIT企業にシステムエンジニアとして3年間勤務。2007年に武雄市へUターンして金岡石油に入り、12年に代表に就任した。SS業界の経営環境は深刻。過疎化、少子高齢化が進み、燃料販売は減り続けているうえに低価格競争が激しく、収益は悪化している。その中で3代目社長として事業承継した。

一方で九州地方整備局・武雄河川事務所からの緊急要請で大和興産（北島喜郎社長・出光昭シ系）が巨勢川ポンプ場（佐賀市）へA重油をピストン輸送したのをはじめ、各地のSSはポンプ場に緊急給油した。これらの対応について「災害時協定と官公需が一体となった取り組みが大きな力になった」と評価する意見が相次いだ。

豪雨対応で意見交換

佐賀 官公需一体の取り組み評価

佐賀石商・協（北島喜郎理事長）の理事会が先ごろ、佐賀市で開かれ、8月末の北部九州豪雨でのSSの被害や緊急給油対応などについて意見交換した。

佐賀県内は記録的な豪雨に襲われ、計25ヵ所のSSが冠水やスタッフの出勤不能によって休業した。

一方で九州地方整備局・武雄河川事務所からの緊急要請で大和興産（北島喜郎社長・出光昭シ系）が巨勢川ポンプ場（佐賀市）へA重油をピストン輸送したのをはじめ、各地のSSはポンプ場に緊急給油した。これらの対応について「災害時協定と官公需が一体となった取り組みが大きな力になった」と評価する意見が相次いだ。

豪雨時の対応について話し合う佐賀理事会

SSスタッフ必須資格の合格率アップに！
ぜんせきWEB
eラーニング
乙4模擬試験
スマホやタブレットで簡単に！
危険物取扱者試験の現状 / 危険物乙種4類試験情報
合格率 39.0%
平成30年度試験受験者 240,102人
同年合格者 93,667人
過去3年間の525問からランダムに出題
問題は定期的に更新。近年の出題傾向を参考に、より本番に近い問題を提供します。
過去の成績（履歴）を振り返り弱点を確認
採点は3科目別に実施。自分の弱い科目がわかります。（60%以上正解で合格）
まずは自分のスマホ・タブレットでお試し版にて模擬試験にトライ！
http://otsu4demo.zensekiweb.com/
ぜんせきweb会員になると無料で何回でも利用可能！

100人のちゃんと買い。
ブリザック史上最高性能
BLIZZAK VRX2
氷上ブレーキ 10%短縮
燃費ライフ 22%向上
静粛性 31%低減
「アクティブ発泡ゴム2」でしっかり止まる、曲がる。
さらに「長持ち」。ロングライフで経済的！
さらに「静かに」。静かで快適な車内空間！
北海道/北東北主要5都市での装着率46.2%
※詳しくはカタログをご参照ください
2台に1台がブリザック
スタッドレスはちゃんと買い。
BLIZZAK
株式会社ブリヂストン
[お客様相談室] フリーダイヤル0120-39-2936
受付時間：月～金（土日・祝日および指定休日は除く）9：00～17：00 www.bridgestone.co.jp
BRIDGESTONE
あなたと、つぎの景色へ

トレンドファイル　ZENSEKI

岐阜・海津市消防本部が導入
タンク付給油システム
日本スタンドサービス

日本スタンドサービスはこのほど、岐阜県の海津市消防本部敷地内にタンク付給油機「どこでも少量危険物取扱システム（自家発電システム）」を設置した。

タンク付給油機を設置した海津市消防本部

同消防本部は、災害など非常時の緊急出動と発電機の燃料補給を可能にするため、同製品の導入を決めた。

少量危険物の届出に必要な設備を備え、その範囲内で石油類を貯蔵および充填ができる。電源がない場所でも太陽光パネルで発電しバッテリーに蓄電することでポンプを可動する。フル充電まで9時間程度、3分間の稼働が20回程度まで可能。メーター表示、満タン自動停止ノズル、ホースリール10㍍を標準装備している。価格は税抜き97万円、受注後約60日で出荷が可能。社会貢献につながる商品として同社では積極的に販促活動を展開している。

日本ミシュラン
公道走行も可能なスポーツタイヤ発売

日本ミシュランタイヤ（新宿区、ポール・ペリニオ社長）は、公道でも走行できるサーキット用スポーツタイヤ「ミシュランパイロットスポーツカップ2R」（写真）を先ごろ発売した。新配合コンパウンドを採用したことで現行モデルよりドライグリップ性能が向上した。

トレッドの外側は横溝の本数を減らし設置面積を最大化したほか、トレッド中央部は主溝の幅を狭めて設置面積を拡大。デザイン面では、ベルベットのような手触りを実現する独自の金型加工技術「プレミアムタッチ」を採用した。

20㌢、21㌢の2サイズで価格はオープン。

〝有機則フリー〟塗料が誕生
関西ペイント販売　補修用で業界初

関西ペイント販売は昨年、自動車補修用で業界初となる「労働安全衛生法」、「有機溶剤中毒予防規則」に該当しない水性塗装システム「オール水性・有機則フリーシステム」の販売を開始しており、先ごろ開催の「千葉SSビジネス見本市」でSS関係者に紹介した。

先行して発売していた水性ベースコート「レタンWBエコEV」に、クリヤーとプラサフが加わったことで、すべてにおいて有機則非該当化に対応した。臭いやVOCの低減で環境面への貢献だけでなく、設備や規制に関する費用の軽減、人体への影響も大幅に低減することができ、過酷な作業環境である鈑金塗装スタッフの職場環境改善にも貢献する。

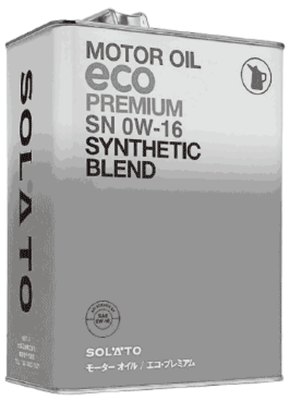
「SS敷地内での軽鈑金にも適したシステムになっている。お客様の車の小キズ直しはもちろん、レンタカーの補修などにも活用してほしい」とSSでの活用を呼びかけている。

同社では、兵庫、神奈川の研修センターや、経験を必要としないコンピューター調色システム「AIカラーシステム」（写真）を準備し、様々な技術サポートを行っている。

問い合わせ：電話＝03－5711－8903（自動車補修塗料販売本部）

環境性能向上の新オイル
「SN 0W－16」発売
太陽

太陽石油はこのほど、0W－16推奨のエコカーが主流になってきたことを踏まえ、「SOLATO ECO PREMIUM」シリーズの新たなラインナップ商品として「SN 0W－16」（写真）を発売した。



高性能ベースオイルを配合、次世代高性能省燃費ガソリンエンジンオイルとして、HVをはじめとする最新エコカーが推奨する0W－16という低粘度・低燃費を実現し、低温時の始動性に優れ、エンジン摩擦を防ぎ、スムーズな潤滑性能と効果的な清浄性能を備えている。

同社ではCO₂排出量の削減にも貢献する、環境にやさしいオイルとしてアピールしていく。

ロシア子会社の供給体制に評価
横浜ゴム

横浜ゴムは先ごろ、ロシアの生産販売子会社が日産自動車のロシア生産拠点から「NISSANベストサプライヤー賞2018」を受賞したと発表した。タイヤの品質とタイムリーな納品を可能とする供給体制が評価を受けて、シャシー部門の最優秀賞を受賞した。横浜ゴムのロシアの生産販売子会社は11年末に日本のタイヤメーカーとして初めて乗用車用工場を操業し、15年から日産に新車装着用タイヤを供給している。

LEDライトを被災地へ提供
住友ゴム工業

住友ゴム工業はこのほど、台風15号で停電が続く被災地に2千個のLEDライトを提供すると発表した。電源や電池を必要とせず、少量の水に浸すだけで点灯する。光が弱まったら、再度水に浸けることで数日間は点灯する。

webアンケート　ZENSEKI

9月テーマ 旧盆商戦について

「ぜんせきweb」読者アンケート・9月テーマ「旧盆商戦について」の結果によると、8月は初旬に猛暑が続いたことで期待されたものの、最大9連休ともいわれた旧盆期に台風が猛威を振るったこともあり、「伸びた」との回答が全体の35%にとどまり、「伸びなかった」との回答は28%となった。また、油外販売でも洗車、物販とも低調さが際立ち、「売れなかった」との回答が33%となり、SSにとって厳しさが際立つ商戦期となった。

昨年の8月は週末のたびに大型台風が日本列島を駆け抜け、SSに多大な影響をもたらした。今夏も7月が長梅雨の影響で、燃料油全般の販売不振が続き、8月の旧盆商戦期の需要増に期待する声は多かった。

ふたを開けてみると、台風10号が西日本地域を中心に猛威を振るい、全国的にも天候不順であったことから、ガソリンを中心に燃料油販売が落ち込んだことは確実。地域的には「前年比20%減」との声も聞かれた。

『手応え感じず』6割
台風影響で夏商戦空振り

設問で「8月10～18日の旧盆期間、燃料油の販売」について聞いたところ、「確実に伸びた」との回答は12%にとどまり、「わずかに伸びた」との回答と合わせて35%となった。逆に「落ちた」との回答が35%、「ほとんど伸びなかった」が28%となり、回答全体の60%以上が年間最大の商戦期に手応えを感じなかったことがわかった。

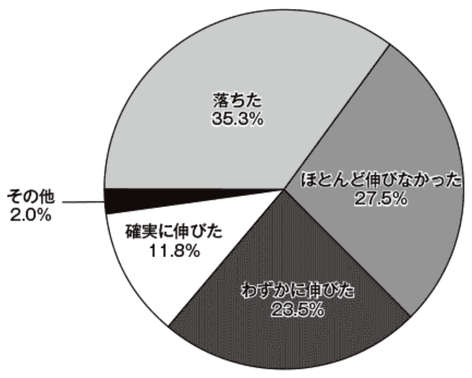
その要因と想定される「台風10号による売り上げへの影響の有無」について聞くと「多大な影響を受けた」との回答は2%にとどまり、「影響を受けた」が31%で、ほぼ全回答の3分の1が台風の影響を感じている。

「今回の旧盆商戦の成果が今後の経営に影響するか」との設問には、「燃料油販売に影響する」が16%、「油外販売に影響する」が20%あり、なんらかの販売政策の転換を考える経営者も多いことが推察される。

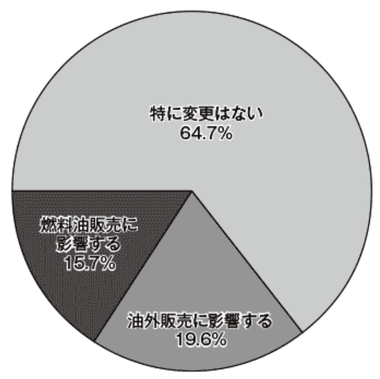
また、今夏の商戦の成果を総括すると「大変満足のいくものだった」との回答はわずかに2%、「ある程度満足のいくものだった」が24%で、手応えを感じる業者は26%程度、逆に「満足していない」との回答は43%に達し、夏商戦そのものが空振り感の強いことが明らかになった。

前回8月調査時に聞いた「夏商戦後半戦に向け期待するものはなにか」との設問では、「ガソリン需要の伸び」が28%で最多、次いで「天候と気温上昇」が23%、「油外収益の伸び」が16%となったが、結果的にその挽回を期待した後半戦としては満足のいくものではなかったようだ。

8月10～18日の旧盆期間、燃料油の販売はどうか



旧盆期間の結果は今後の経営に影響は



8月業況
G販売減少は鈍化へ
卸平均は1.8円安116・4円

業況・卸価格アンケート結果によると、回答者の属性は、JXTG45%、出光昭シ31%、コスモ12%、太陽2%、その他10%、2者37%、3者55%、その他8%だった。

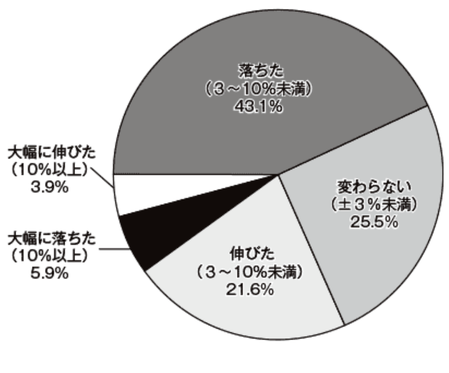
8月のガソリン販売量は前年比で「伸びた」が22%（前月5%）、「大幅に伸びた」4%（3%）で合計で18ポイント上昇。「落ちた」43%（49%）、「大幅に落ちた」6%（11%）で合計で11ポイント減少と、前月に比べガソリン販売の減少傾向は鈍化した。ただ、年間最大の商戦期としては、不十分だったことは否めない。

一方の油外は、「伸びた」35%（前月11%）、「大幅に伸びた」4%（4%）で、合計で前月より24ポイント上昇。「落ちた」29%（36%）、「大幅に落ちた」12%（24%）で、合計19ポイント減少し、落ち込んだ7月から一転、大幅に良化した。

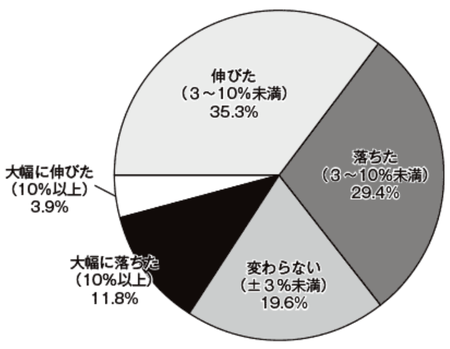
卸価格・業転価格調査では、1ヵ月平均のレギュラーガソリン卸価格（1㍑、系列仕切り、消費税抜き）は、最高139・0円（前月134・0円）、最低110・9円（109・7円）、平均価格は116・4円（118・2円）で、前月より1・8円値下がりした。

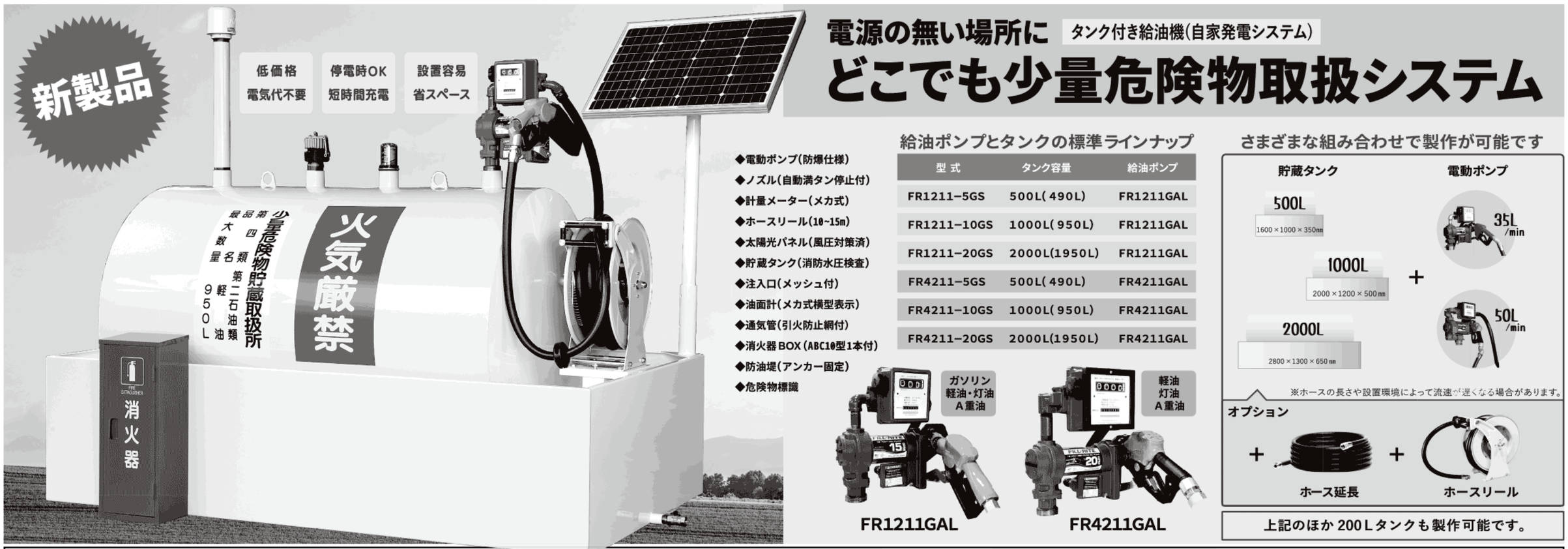
一方、8月20日時点でSSが購入もしくは売り込みがあったガソリン業転価格（1㍑、消費税抜き）は、最高116・0円（119・0円）、最低109・0円（110・0円）、平均価格は112・2円（115・4円）で、前月より3・2円値下がりした。

ガソリン販売量は前年と比べてどうか
（複数SS所有の場合は1SS平均）



油外販売は前年と比べてどうか
（複数SS所有の場合は1SS平均）




新製品
低価格 電気代不要
停電時OK 短時間充電
設置容易 省スペース
火気厳禁
少量危険物貯蔵取扱所
第四類 第二石油類
最大数量 軽油 950L
消火器

電源の無い場所に　タンク付き給油機（自家発電システム）
どこでも少量危険物取扱システム

◆電動ポンプ（防爆仕様）
◆ノズル（自動満タン停止付）
◆計量メーター（メカ式）
◆ホースリール（10～15m）
◆太陽光パネル（風圧対策済）
◆貯蔵タンク（消防水圧検査）
◆注入口（メッシュ付）
◆油面計（メカ式横型表示）
◆通気管（引火防止網付）
◆消火器BOX（ABC10型1本付）
◆防油堤（アンカー固定）
◆危険物標識

給油ポンプとタンクの標準ラインナップ

型式	タンク容量	給油ポンプ
FR1211-5GS	500L（490L）	FR1211GAL
FR1211-10GS	1000L（950L）	FR1211GAL
FR1211-20GS	2000L（1950L）	FR1211GAL
FR4211-5GS	500L（490L）	FR4211GAL
FR4211-10GS	1000L（950L）	FR4211GAL
FR4211-20GS	2000L（1950L）	FR4211GAL

ガソリン 軽油・灯油 A重油
FR1211GAL
軽油 灯油 A重油
FR4211GAL

さまざまな組み合わせで製作が可能です
貯蔵タンク　電動ポンプ
500L 1600×1000×350㎜
1000L 2000×1200×500㎜
2000L 2800×1300×650㎜
35L/min
50L/min
※ホースの長さや設置環境によって流速が遅くなる場合があります。
オプション
ホース延長　ホースリール
上記のほか200Lタンクも製作可能です。

当社は、計量機検定／修理・地下タンク漏えい検査・地下タンク老朽化対策工事・各種施工等、充実のサービスで給油所運営をサポートいたします。
無料お見積り・お問い合わせは
0120-016-889
◆ホームページ http://www.nssk.co.jp/
◆給油機器.com https://kyuyukiki.com/
日本スタンドサービス　検索
◆自社計量機販売 ◆給油機器販売 ◆計量機検定 ◆計量機修理
◆中古計量機買取・販売 ◆中古部品販売 ◆地下タンク漏えい検査
◆移動タンク漏えい検査 ◆高精度油面計 ◆電気防食システム工事
◆給油所新設工事 ◆給油所廃止工事 他 お気軽にご相談ください。
日本スタンドサービス株式会社
大阪本社 〒578-0911 大阪府東大阪市中新開2丁目11-17 TEL.072-968-2211 FAX.072-968-3900
東京営業所 〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目21-6 TEL.03-5721-4789 FAX.03-5721-4787